

# 日本エアテック 社内報



2016年 夏号  
発行：日本エアテック 管理企画室



KEYMAN's INTERVIEW

「大型マシニングセンタ」について

キーマンズ・インタビュー

当社の鍵を握るあの人に、聞いてみたいことがある。

# KEYMAN's INTERVIEW

機械加工を主に行う「第二工作部」。中でも大型マシニングセンタは他の職場に比べて扱う製品が大きく、部品についても高価なものが多い。そんなプレッシャーの中で業務に取り組む、村留寛作業長、鈴木隆広作業長代理、山本昌幸さんに業務内容について語ってもらいました。

「今まで様々な職場の方にインタビューを行ってききましたが、社内報を『一覽』になって初めて仕事内容などを知るといいうことは多いですか？」

村留 やはり自分の関わっていない分野は分からないことが多いので、違う職場についての記事は興味深く拝見しています。

「今回は大型マシニングセンタで働く皆様にお集りいただいたのですが、まずはじめに業務内容を教えてくださいませんか？」

村留 僕は作業長をしています。大型マシニングセンタから三構造などの小型マシン、そのほか量産関係のマシンなど、第二工作課の全般を見ています。手作業仕上げの工程や、ブローチ加工という特殊な加工の時時に念入りにチェックしています。入社した時から大型マシニングセンタにいます。今までは自ら機械を触って作業することはほとんどなく、加工スケジュールを見ながら鈴木さんや山本さんたちに指示を出しています。

「今までは違う作業長としての業務内容に、はじめは戸惑いなどありましたか？」

村留 作業指示を出すことへの難しさはないのですが、自分が触っていた機械以外のことも教えないといけないので、この立場になったばかりの頃はわからないことが多く、大変でした。今では大分統一してきているんですけど、当初は持ち場によってやり方も違って。全てを教えるっていうことに戸惑いはありました。触ったことのない機械は新たに覚えていかないといけないんですけど、まあ、そんな一気に覚えられませんからね(笑)。覚えることばかりで大変でした。大型マシニングセンタの機械は本場に大きいので、それに乗せる製品自体も何トンという世界になってきます。それを横転させてしまったら、危険な職場だということも含め、いろいろと指

導をしないといけないなと思っています。

鈴木 僕は今年で入社11年目で、ずっと大型マシニングセンタに携わっています。今年に入って、班長から作業長代理になったのですが、仕事内容でいうと班長の時とあまり変わりなく、実際に現場で作業していることが多いです。生産管理も業務内容ですが、自分も機械を動かさないといけないのでどうしてもそっちを優先してしまい、今はほとんど村留さんに頼ってしまっている状態ですね。あとは、後輩にどの機械を優先してやってほしいなどの指示を出したり、分からないところを教えたりしています。自分の仕事で手一杯で後輩にもなかなか一から丁寧に教えられないので、今後はもう少しそういう時間が増やせたらと思っています。

山本 僕は鈴木さんや村留さんに指示をしていただいて、今はだいたい2、3台の機械を動かしています。

「山本さんは入社してまだ1年ほどだとお聞きしましたが、配属が決まった時はどんなお気持ちでしたか？」

山本 これは製品ひとつひとつが大きく、その分値段も高いので、配属が決まった時は「壊したり、製品を傷つけてしまったらどうしよう」という恐怖しかなかったですね(笑)。当初はやっぱり不安な気持ちの方が勝っていたんですけど、5軸ということとでやりがいを感じられる職場なのかなとも思っていました。

「製品も大きく、値段が高額であるなどのお話もでしたが、ほかの職場とは違う大型マシニングセンタの特徴は？」

村留 今動かしている機械は6台あるんですけど、ひとつひとつ段取りや加工方法が違うんですよ。極力同じようなやり方でできるように初めに作ってはいるんですけど、同じ製品を乗せても機械によってどうしても異なってきます。そういったところがほかの職場とは違うかもしれないですね。

「製品が大きいだけに、その段取りもすごく時間がかかるとお聞きしました。」

村留 早いもので3時間くらい、大きいものになると6時間くらいかかります。そのひとつの製品を数人で取り掛かるわけではなく基本1人で作業することになりますので、どうしてもそれくらいの時間はかかってしまいますね。  
山本 やつぱり物が大きいので、加工前に行う機械の掃除にも時間がかかります。村留 掃除が一番大変かもしれないね。品物が大きいということもそれを乗せるテーブルももつと大きいわけで、どうしても時間はかかります。段取りに時間のかかるものは加工の時間も長くて、2、3日かかるものもあります。今までだと一番長くて、段取りに8時間かかった製品がありましたね。中腰での作業になるのでも痛いですし(笑)。

「加工に入るまでが大変なんですね。ほか



鈴木隆広  
第一工作部 第一工作課作業長代理

に苦労されていることなどはありますか？  
山本 そうですね。歩く距離ですかね(笑)。今動かしている機械が鈴木さんの作業場とまた別のところにあつて、何か聞きに行くにしても10メートル以上は歩かないといけない。その距離を毎日歩いているので、いい運動になっています(笑)。

「大きなリスクを背負いながら作業されているわけですが、日頃作業する上で一番気をつけていることを教えてください。」

村留 機械を触る立場ではないので、作業員がケガをしないように、作業する前の確認作業、注意の呼びかけを大事にしています。「本場に大丈夫か？」と念入りに確認していると「邪魔するな」という目で見られることもあります(笑)。

山本 村留さんがおっしゃったように、何をやるにも確認が大事だと思っています。図面やプログラム、機械に入れる補正値など、全てにおいて事前に確認することを気をつけています。失敗が一番怖いし、代償も大きいです。失敗してしまふこともあるんですけど、その時は原因を見つけて二度と同じ失敗をしないように心がけています。

鈴木 僕も同じなんですけど、山本くんと一緒に現場に入って失敗はしてほしくないです。失敗しないためにどうしたらいいかというのを考えて、現場を見て確認したりしています。あとは、最悪な状況を考えるようにしています。例えば「こんな吊り方したら品物を落としてしまうな」とか、そういうことをなるべく想像して失敗がないように意識しています。

「仕事にやりがいを感じる時は？」

山本 1年ちょっと経って、最初はできなかったことが少しずつではありますが、できるようになってくると楽しいですね。

鈴木 やつぱり失敗やトラブルもなく、納期通りにスムーズに出荷できた時ですね。  
「最後に職場全体、自身の仕事内容について改善点や今後の目標などはありますか？」  
村留 僕の立場から言うと、今現場にも若手が増えてきていますので、全体のレベル向上のためにも、若手の育成に力を入れていきたいと思っています。新人が今現場でメインで働いている人と同じ技量を持つ

てもらわないと、これからやっていけないと思うので、口頭で教えて、見て覚えさせていこうことをもっていきたくと思っています。

鈴木 まずは基本的なこととして、整理整頓をきちんとして綺麗な職場にしたいですね。僕もなんですけど、バタバタしている時は特に機械の周りが道具などで散らかってくるんですけど、もう少し落ち着いて作業できるようにして、整理整頓をきちんとしていきたいです。

村留 製品が大きいので、使う道具も大きくなってくるので2、3個出したら散らかってしまうんですけど、重複して使うこともありますし、使ったすぐ片付けるようにするのも難しいですね。

山本 自分自身についてなんですけど、もつと信頼されて、先輩方が安心して任せられるような存在になりたいです。キャリアもまだまだなので、とりあえず目の前の仕事を一生懸命やって、失敗を減らしていければと思っています。

鈴木 山本さんには、今も2台の機械をほとんど1人でやってもらっているんですけど、まあ、100%信頼しているとはまだ言わないですけど(笑)。

村留 1点を見ただけで確認できるような機械ではないので、その数々の確認を自然にできるようになったり、段取りが早くなってきた時に成長したなと感じると思います。頑張ってください。



山本昌幸  
第一工作部 第一工作課